

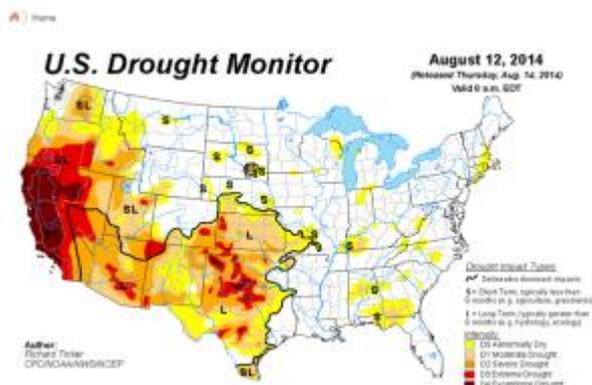
人為操作によるカリフォルニアの焦土化

August 18, 2014

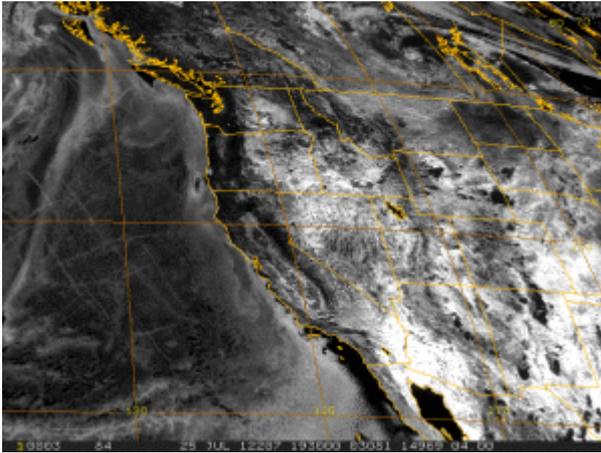
GeoengineeringWatch (Dane Wigington)



かつて「黄金の州」といわれたカリフォルニアが、全面的天候戦争攻撃というべきものによって、文字通り焦土化している。我々自身の政府の続けている気象操作計画が、アメリカ人民に大打撃を与えている。絶え間ない大気圏へのエアロゾル散布が、カリフォルニアの降水量を劇的に減らしただけでなく、この州の上流にあたる暴風雨の通り道を完全に遮断している。西部に降るべきだった雨が、遥か離れた東部にますます集中して洪水を起こしている——計画者の狙い通りに。下の地図はその明らかな確証である。



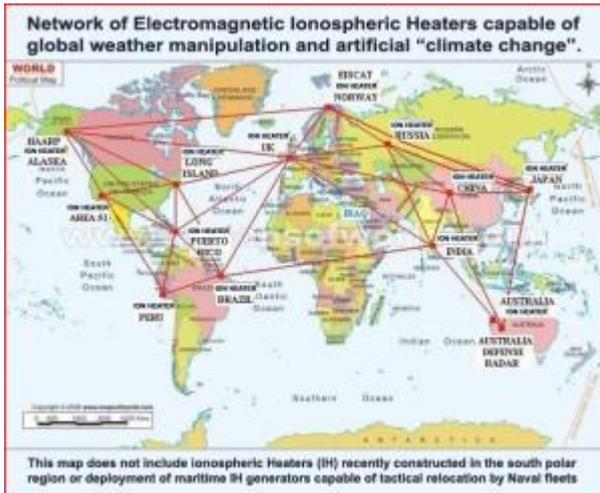
下の衛星写真は、完全に降雨パターンを狂わせている東太平洋の散布のグリッド・パターンを、明瞭に示している。



下の写真はカリフォルニアで撮られたものだが、今ではこれがこの州に典型的なもので、エアロゾルが撒かれた空の下にひび割れた大地が広がっている。



イオン圏ヒーターの地球的ネットワーク（下に示されている）もまた、カリフォルニアに影響を与えている降雨ブロック要因の一部である。



カリフォルニアに集中して作り出された干ばつがあまりにも極端だったので、かつての豊かな果樹園が文字通り引き裂かれてしまった。下の 2 分間ビデオはすべての人を驚かせるだろう。

<https://www.youtube.com/watch?v=AqZoQyLzC0k>

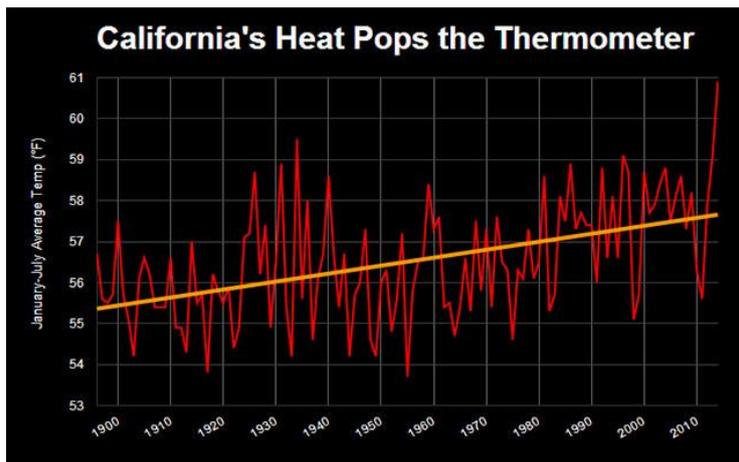
カリフォルニアで進行していることが、あまりにも恐ろしく前例のないことなので、主流メディアでさえその深刻さを無視できなくなった。気象操作をする人たちは、ただ干ばつを作り出しているだけではない。彼らは暑さを作り出すことができ、現にそうしている。この惑星は多くの人間活動が原因で温暖化しているが、天候を作る人たちは、いつでも、どこでも好きなように、サーモスタットを記録的な高さに設定することができる。

カリフォルニアの記録的高温はこれまで誰も経験したことのないもの

Source: Bloomberg

もし熱くなった温度計が、漫画によくあるように現実に爆発するとしたら、現在のカリフォルニアでは飛び散った水銀を片付けるのに大変だろう。

今年のカリフォルニアの暑さは、これまでに経験したことのないもので、その記録は 1895 年にまで遡る。下のチャートは、現在までの、年ごとの 1 月から 7 月までの平均気温を示すもので、オレンジの線は、10 年ごとに華氏 0.2 度ずつ上がっていることを示している。

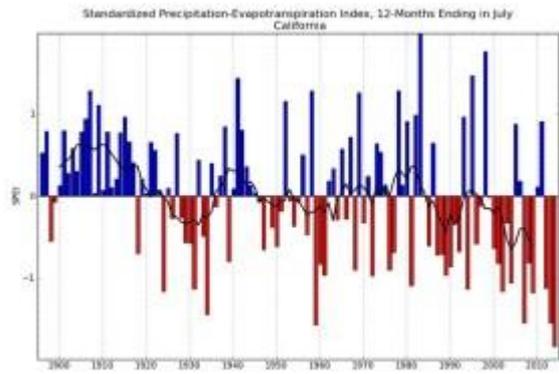


このチャートの右端の鋭いスパイクは、2014年の耐えられない暑さを示している。これは新記録だというだけではない。それはチャートを突き破る勢いで、前の記録より1.4度も高くなっている。

この高い温度は、カリフォルニアの歴史で最悪の干ばつの一つの原因になっている。この州の表土と深層土の貯水量はほとんどなくなり、牧草地の70%は、USDAによれば“非常に乏しい”から“乏しい”と評価されている。降雨と高温とともに考慮する評価では、これは歴史上最悪である。（下のチャートを見よ）

気温が極端といっても、それは全く予期されなかったことではない。上のオレンジの線は地球全体を通じて上昇している気温と一致している。地上の平均的表層温度は、NASAによれば、1880年以来ほぼ華氏1.4度も温暖化している。アメリカの東半分の2014年は異常に涼しかったが、それは地球の残りの部分と比べると、孤立した例外にすぎない。

1,300人以上の科学者を擁する「気象変動に関する政府間パネル」(IPCC)は、次の世紀にかけて華氏2.5から10度(2.2~5.6°C)の気温上昇を予測している。これはカリフォルニアの記録的猛暑を、将来起こることの範囲内に十分収めるもので、“猛暑”は“普通の気温”ということになる。



SPEI は、降雨と暑さの効果をともに含む干ばつの尺度である。より高い気温は、蒸発と植物の発散作用によって、失われる保水量を増加させる。
